



Claude Code をはじめる ④

原石工房

隠れた才能に気づき、花開く

仕事を頼むたびに、同じことを言っていた



原石工房

会話を新しく始めると、また最初から

短く。専門用語は使わないで。このフォルダは触らないで

人に頼むときも、こうだった

「前にも言ったよね」を、飲み込む

言い直すたびに、頼む側が少しずつ疲れる

覚えainerのではなく、渡していなかった



原石工房

決まりを書いておく場所がある

決まりの1枚 = CLAUDE.md

渡したフォルダの中に、この名前のファイルを1枚置く。会話を新しく始めるたびに、先に読まれる。

言い直さなくて済む理由

相手の物覚えではなく、読む場所を渡したから。

頼んだのは、この文



原石工房

3つだけ。名前を変えれば、そのまま使えます

私の決まりを1枚にしてください。CLAUDE.md
という名前のファイルで、この3つだけ書いてくだ
さい。1. 呼び方 2. 言葉づかい 3. 触らせない場所

— 入力欄に、そのまま書いた文

数秒で、1枚できた



原石工房

中身は、頼んだ3つがそのまま並んでいるだけ

CLAUDE.md 決まりの1枚

池田さんとの進め方

1. 呼び方

池田さんと呼ぶ。

2. 言葉づかい

短く。専門用語を使わない。使うときは普通の言葉で言い換える。

3. 触らせない場所

「原本」という名前のフォルダの中は読んでいいが、変えない。

呼び方：池田さんと呼ぶ

言葉づかい：短く、専門用語は使わない

触らせない場所：「原本」は読んでいいが変えない

2回目の会話で、止まって聞いてきた



原石工房

わざと決まりに反することを頼んだ

決まりに「原本は変えない」と書かれているので、変更できません。

原本の外に複製を作って直すか、決まりを上書きするか、どちらにしますか。

2回目の会話で「原本の誤字を直して」と頼んだときの返事（承認あり）

原本／請求書ひな形.txt

変わっていない（決めるまで止まっている）

止まる

「原本は変えない、と書かれているので変更できません」

複製で直すか、決まりを上書きするか、と聞かれた

こちらが決めるまで、ファイルは変わっていない

原本を読んで、外に新しく作る



決まりに沿った頼み方なら、そのまま通る

my-first 原本を読んで、外に新しく作る

原本／請求書ひな形.txt

株式会社A社 御中
ご請求金額：100,000円（税込）
振込先：〇〇銀行 △△支店

お世話になっております。

誤字もそのまま＝触っていない

請求書_B社_2026-09.txt（新）

株式会社B社 御中
2026年9月分
ご請求金額：80,000円（税込）
振込先：〇〇銀行 △△支店

いつもお世話になっております。

社名も振込先も言い直していない

「原本のひな形を元に、B社宛て・9月分を直下に新しく作って」

新しい請求書が1枚できた

社名も振込先も、言い直していない

確認を飛ばす設定にすると、直してしまう



原石工房

決まりの1枚は、書いてあるだけ。止めるのは確認の設定

確認あり（既定）

決まりを読んで止まる

どうするか聞いてくる

決めるまで変わらない

確認を飛ばす設定

頼めば、原本も直される

決まりの1枚は書いてあるだけ

止めるのは確認の設定

今日は、ここまで



原石工房

「この前のお願いね」で済む

前は仕事を頼むとき、何回も同じことを言っていた

「もういい加減覚えてよ」ということもあった

いまは「この前のお願いね」で済む

頼むのが、少し軽くなった

あなたの決まりの3つ目は、どのフォルダですか。



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く